

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

〒650-0003

神戸市中央区山本通 4-22-25 兵庫人権会館 2 階

TEL : 078-252-8280 FAX : 078-252-8281

e-mail : blrhyg@extra.ocn.ne.jp

URL : <http://www6.ocn.ne.jp/~blrhyg/>



● 所長の諏訪山だより

官房長官の記者会見

平日の夜、テレビ各局のニュース番組をみていると、菅義偉官房長官の記者会見の映像をよく目にする。記者会見で官房長官が何をしゃべったのか、何に対してどのようなコメントをしたのか、それらがいわゆるニュースバリューであるから、テレビ局は会見の一部を官房長官の音声と映像で流したり、官房長官がしゃべっている映像に重ねて、アナウンサーが会見の要旨を説明するのである。テレビ報道としては、これだけで十分である。しかし、実際の官房長官の会見報道では、会見場のロングショットから始まり、右前方（舞台上いえば上手）から官房長官が会見場に入ってきて、演台に進み、途中でいったん立ち止まって、会見場に置かれた日の丸に対して頭を下げてから演台の前に立つまでの一連の動きを「前置き」とすることがある。そして、官房長官の記者会見のニュース映像は、会見内容とはまったく無関係な、この「前置き」から始まることが多いのである。

日の丸にお辞儀をする官房長官。この映像を私たちは繰り返し見せられる。視聴者の多くは、次第にこの映像に慣れ、日の丸にお辞儀をするのは普通であり、当たり前と感じてしまう。さらに、日の丸に対してはお辞儀をしなければならないと考えるようになるのである。これはテレビ局による意図的な、そして悪質な操作にほかならない。こうした操作がテレビ局の判断で自主的に行われているのか、それとも外部からの圧力によるものなのか。いずれが事実であっても、社会の木鐸たるテレビ局の矜持など、そこには微塵もない。メディアリテラシーということばが人口に膾炙して久しいが、こういう時代だからこそ、私たちはマスメディアの流す情報を鋭く読み解く力をつけなければならないのである。

所長 石元清英

新着図書

2013年4月

○ 『北側オリニ栄養パン工場 兵庫事業本部 第4回定期総会 議案書』（北側オリニ栄養パン工場兵庫事業本部）

『人権学習シリーズ Vol.9 あたりまえの根っこ 社会の意識とわたしの価値観』（大阪府府民文化部人権室、2013.3）

『人権問題研究叢書 8 2011年度講演録 講座・人権ゆかりの地をたずねて』（世界人権問題研究センター、2013.3）

『外国人女性のための役だつインフォメー

ション（2013年改訂版）』（アジア女性自立プロジェクト、2013.3）

『2012年度龍谷大学人権問題研究委員会女性研究プロジェクト中間報告書 「沖縄における階層格差と人権」』

一部を除く所蔵図書の「のじぎく会館」への寄贈等のため、図書の整理が遅れております。一部利用できない図書がありますので、図書をご覧になりたい方は、必ず事前にお問い合わせください。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

まんがのすゝめ



『闇金ウシジマくん』 1巻～30巻：以下続巻

(真鍋昌平 / ビックコミックスKC / 小学館 / 2004年～ / 定価:各 530円(税別))



人間はどこまで落ちて、どこまで追い込まれていくのか——。目の中に星がきらめく少女漫画で育った世代は、表紙を見たときたんにひるんでしまい、手に取ってみようとする気がまったくおきない。それでも読んでみようと思ったのは、大学生の娘が「就活前に必読の漫画」なのだと教えてくれたからだ。ピンクが基調・女子感満載の娘の部屋にずらりと並んだ単行本は、そこだけ現実世界の厳しさを諭すかのようにドス黒い空間を生み出している。一度落ちてしまえば、はいあがることができない異次元へのマンホール。ただ、読み進めていくと、マンホールの底にある世界は決して異次元ではなく、誰もが少し足を踏み外すと、容易に落ちていく世界であることに気が付く。

累計800万部を売り上げるベストセラー。闇金融の世界を中心に社会問題を扱う作品であるが、キャバクラ、ホストクラブ、出会いカフェ、タクシー業界、IT企業、生活保護、引きこもり、DV、自己破産など、知っているようで、実はどういう仕組みになっているのかよくわからない世界を、綿密な取材をもとに、お金の具体的な流れや金額を示しながら描いているので、登場人物が借金地獄に陥り落ちる過程がとてよくわかる。物語の構成や心理描写が実に巧みで、そのリアルさに引き込まれドキドキ、ハラハラさせられる。筆者は、闇金でお金を借りて、どうしようもなくなれば「自己破産」してしまえばチャラになるんじゃないの?と安易に考えていたが、実は自己破産は、ギャンブルや風俗など、いわゆる「贅沢」で使ったものには適用できないなど、さまざまな制限があり、そんなにあまいものじゃない、ということも教わった。

「就活前に必読」なんて、漫画の登場人物のように転落した人生を歩まないように、少しでも良い会社への就職をめざすためか、なんだか鼻持ちならんと思っていた。だが、読んでみると、日本社会の裏側に渦巻くダークな世界の経済的な仕組みや、巧妙にしかけられる罠の手口を、しっかり学ぶことができる好著じゃないかと思えてくる。拷問や風俗の描写などには目をそむけたくなるけれど、綺麗事を徹底的に省いたリアルさには、きちんと向き合うべきなのかもしれない。(K)

本の紹介

「戦後日本史の考え方・学び方 歴史って何だろう？」

成田龍一著、河出書房新社、2013年刊、定価 1200円(税別)

昨年、4月28日を日本が占領を脱した「主権回復の日」として式典を開こうとする政府に対し、沖縄では県議会が全会一致で反対を決議するなど、強い反発が起きた。なぜか。サンフランシスコ平和条約が発効されたこの日は、沖縄、奄美諸島、小笠原諸島といった地域にとっては、日本の主権から外された「屈辱の日」だからだ。

年齢や立場、性別や職業によって出来事の受け取り方は異なるし、地域によっても違う、と著者は説く。

本書は、河出書房新社の「14歳の世渡り術」シリーズの1冊で、対象は中学生。

「55年体制」が終わりを告げたと言われるのが1993年。オウム真理教による地下鉄サリン事件は1995年。今の中学生は生まれていない。親はもちろん、祖父母も多くが「戦後」生まれだろう。

その中学生を対象に、「戦後史」を改めて「そもそも」からわかりやすく語りながら、同時に「歴史とは何か」を考えようとする「いままでになかった歴史入門」である。

「歴史とは何か。ふだんはそんなこと考えもしないでしょう。そんなことは決まっている、教科書に書いてあることじゃないか、そういう声が聞こえてきそうです。...毎日毎日、世界中でたくさんの出来事が起こっていますが、教科書に載っていることだけが歴史なのでしょうか」「過去の出来事を

なぞることが歴史ではなく、たくさんの出来事から、ある出来事を抜き出し、別の出来事と結びつけて説明することが、歴史なのです。歴史は出来事を解釈し、語る営みです」

第1章 戦争に負けてどうなった？ 占領の話（あの戦争を何と呼ぶ？ / 敗戦？ 終戦？ / 「東京裁判」のここが重要 他） 第2章 知ってる？ 「55年体制」って何？（君は『三丁目の夕日』を観たか / 社会運動がさかんだったころ / 1955年に何があった？ 他） 第3章 経済大国？ それっていつのこと？ 第4章 「もうひとつの」戦後日本を見よう（「沖縄」の歴史から戦後を見よう / 「女性」の歴史から戦後を見よう / 「在日コリアン」の歴史から戦後を見よう / これまでの歴史の「狭さ」を知ろう 他） 第5章 歴史は生きている これからの日本 おわりに 歴史はひとつではないが、なんでもありでもない

「歴史は過去を語るのですけれども、同時に未来を語っています。...未来に向けて、いまを確かめ、そして、どのような過去の条件があるのかということを知る営みが、歴史です」

中学生はもちろん、一から「戦後史」を学び直し、「来し方、行く方」を考えたい大人にもおすすめだ。

(H)



人権歴史マップ淡路・神戸増補版

印刷中!!

ひょうご部落解放・人権研究所では異なった特色をもつ兵庫県をいくつかの地域にわけ、その地域における部落問題をはじめとする様々な人権に関する歴史を『人権歴史マップ』として刊行しております。いよいよ、待望の『人権歴史マップ淡路神戸増補版』の刊行が間近となりました。ただいま印刷中です。

淡路

◇洲本市

- ・高田屋嘉兵衛
- ・庚午事変
- ・由良要塞
- ・在日朝鮮人作家 鄭承博
- ・学制の改革と青年団、夜間高校

◇南あわじ市

- ・淡路の人形浄瑠璃
- ・高麗陣打死衆碑
—秀吉の朝鮮侵略の犠牲になった漁民たち
- ・『破壊』の市村弁護士モデル・立川雲平
- ・ユダヤ難民を救った軍人、樋口季一郎
- ・理論と実践の経済学者、大内兵衛

◇淡路市

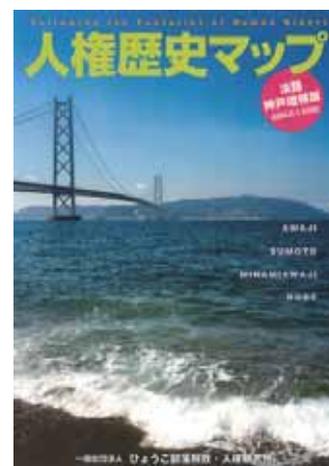
- ・石上神社の女人禁制
- ・日本一の線香産業と戦争
- ・連絡船「せきれい丸」の事故
- ・ぶったあ福祉会へようこそ
- ・鎮魂の“べっちゃんいロック”

神戸

☆旧神戸版 17 項目（一部改訂あり）

☆新項目

- ・児童養護施設 愛神愛隣舎
- ・ブラジル移民
- ・神戸港 平和の碑
- ・有馬温泉の「癩」者と夙
- ・阪神大水害
—朝鮮人を救った福田巡査父子
- ・神戸のケミカルシューズ産業
- ・4・24 阪神教育闘争
- ・たかとりコミュニティセンター (TCC)
- ・兵庫津と禅昌寺にのこる朝鮮通信使の扁額
- ・コラム 賀川ハル
- ・コラム 赤羽神社と寒鳳遺跡



頒価 700 円

ご予約受付中です 078-252-8280

人権教育ひょうご 第17回総会

日時：5月17日（土）13：30～ 場所：ラッセホール（神戸市中央区中山手通4-10-8）

第一部：総会 / 第二部：記念講演

お問合せ：人権教育ひょうご事務局 TEL:078-241-2345 / FAX:078-242-5569

2014年度 人権歴史マップ連続セミナー第1回

セミナー『賀川ハル』

芝ハルは、キリスト教信者の親戚が経営する神戸の工場で女工として働いていました。1911年、工場に讃美歌の指導をするために賀川豊彦がやってきました。豊彦はキリスト教伝道者で、神戸の新川スラムでのセツルメント活動などで知られるようになる社会事業家です。ハルは豊彦から大きな影響を受け、キリスト教信者となり、豊彦とともに活動するようになりました。2人が結婚したのは出会って2年目のことでした。

スラムでの生活は大変厳しいものでした。ハルは子どもたちのトラホーマ(伝染性の慢性結膜炎)の手当てをしているうちに感染し、右目を失明しています。ハルはそんな状況のなかでも夫の事業を支えながら、「婦人運動」に関わるようになり、1921年には仲間とともに覚醒婦人協会を結成しています。1960年に豊彦が亡くなった後もその事業を引き継ぎ、1982年に亡くなるまで旺盛に活動しました。

2014年度第1回の人権歴史マップセミナーでは、賀川ハルの事績について庄内地域史研究所所長で『賀川ハル資料集』を編纂された三原容子さんにご講演いただきます。



講師：三原 容子さん(庄内地域史研究所所長 / 『賀川ハル資料集』編著者)

日時：2014年5月17日(土) 午後2時～3時30分

参加資料代：一般800円 / 会員・定期購読者・学生500円

会場：兵庫人権会館2階

フィールドワーク『賀川記念館見学』

日時：2014年5月17日(土)

午前10時30分～午後1時

事前申込制、定員20名

参加費：1000円(昼食代含む、午後の参加資料代及び交通費は別途必要)

集合場所：JR三ノ宮駅東口

行程：JR三ノ宮駅東口(10:30) 賀川豊彦生誕100年の碑 賀川記念館見学 『天国屋カフェ』にて昼食(12:00) 解散(13:00) 内容は変更することがあります。

【天国屋カフェ】

賀川豊彦は、貧しい人々に美味しいもの、栄養のあるものを食べてほしいとの願いから、1910年に『一膳飯天国屋』を開きました。そして、その100年後の2010年、21世紀の『一膳飯天国屋』を目指して、立場の違いを越えて出会う人々の居場所として『天国屋カフェ』がつけられました。

セミナー/フィールドワークのお問合せは...

(社)ひょうご部落解放・人権研究所 TEL:078-252-8280 mail:birhyg@extra.ocn.ne.jp

事務局から

▼春だ。年度始めだ。掃除の季節だ。掃除なんて神話の「シシュフォスの苦役」みたいなものだけど「掃除すると頭も片付く」。ハイ。がんばります。(H)

▼桜満開です！春は、別れの季節。4月より新しい仕事にチャレンジします。今まで、皆さまに支えていただき、本当にありがとうございました。(橋桃)

▼『人権歴史マップ』発行については、それぞれの地域で、たくさんの方々にご協力いただいた。感謝に尽きない。新刊も充実のラインナップ。おすすめです！(K)

▼出会いやお別れの春・・・皆さんもいろんな春を迎えていることでしょう。私は、新しい出会いの春を迎えています。新人のIです。よろしくね。(I)

▼眠たい季節のはずですが、勤務中に眠気を感じる余裕(あまり)ありません。自然のリズムに身をゆだね、春はひたすら眠たいのがよいですね。(Ka)

▼4月5・6日は、元町商店街にて、もともちハートミュージアムやります☆人形劇、まだ空きあります(>_<)大至急、申し込んでください★(ひ)